

ソーラーハイドロジェン ～可視光全域利用に向けた水分解光触媒の創製～

入江寛 教授 (山梨大学クリーンエネルギー研究センター)



2015年3月10日 (火) 15:00—16:00

創成科学研究棟3階セミナー室D

<http://www.cat.hokudai.ac.jp/access.html>

太陽エネルギーは太陽光発電、太陽熱発電、バイオマス技術などに利用されているが、それらに続く次世代の技術として光触媒を用いた水素製造技術、いわゆるソーラーハイドロジェンが注目されている。近年、研究が進み可視光照射下で水を完全分解できる光触媒が種々報告されているが、更なる長波長応答化、効率の向上が必要である。本講演では可視光全域利用に向けた講演者の取り組み、将来の展望を述べる。

問合せ先： 触媒化学研究センター・大谷文章 (ohtani@cat.hokudai.ac.jp/011-706-9132)

《講演者略歴》2000年東京大学大学院工学系研究科先端学際工学専攻博士課程修了 (学術博士) / 財団法人神奈川科学技術アカデミー博士研究員 / 2001年東京大学先端科学技術研究センター助手 / 2004年東京大学大学院工学系研究科助手 / 2006年 同講師 / 2008年同准教授 / 2009年山梨大学クリーンエネルギー研究センター教授